

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公表番号】特表 2015-503638 (P2015-503638A)

【公表日】平成 27 年 2 月 2 日 (2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-007

【出願番号】特願 2014-549165 (P2014-549165)

【国際特許分類】

C 0 8 L 33/02 (2006.01)

C 0 8 L 33/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/3412 (2006.01)

C 0 8 K 7/20 (2006.01)

C 0 8 K 7/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 33/02

C 0 8 L 33/14

C 0 8 K 5/3412

C 0 8 K 7/20

C 0 8 K 7/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

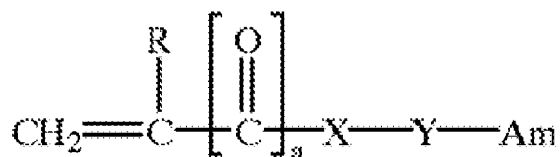
(a) 第 1 のモル分率の酸官能性ポリマー部分を含む第 1 の (メタ) アクリルポリマーと、第 2 のモル分率の、前記酸官能性ポリマー部分とイオン性架橋を形成可能な部分を含む第 2 の (メタ) アクリルポリマーと、を含むイオン性架橋ポリマーマトリックス、及び

(b) 2 ~ 50 重量% の中空ガラス微小球、を含む、熱可逆性混合物であって、

第 1 のモル分率及び第 2 のモル分率が、前記ポリマーマトリックス内の繰り返し単位の合計モル数を基準とし、

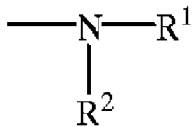
前記第 2 の (メタ) アクリルポリマーが、以下の式の塩基性モノマーから誘導される塩基性ポリマー部分を含む、熱可逆性混合物。

【化 1】



(式中、a は、0 又は 1 であり、R は、H - 及び CH<sub>3</sub> - から選択され、X は、- O - 及び - NH - から選択され、Y は、二価結合基であり、Am は、以下の式の三級アミン断片であり、

## 【化 2】



R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は、アルキル基、アリール基、シクロアルキル基、及びアレニル基から選択されるか、複素環を形成している。)

## 【請求項 2】

請求項 1 に記載の混合物を含む芯材に結合された第 1 の スキン層 を含む、成形性複合物。

## 【請求項 3】

請求項 2 に記載の成形性複合物を含む、成形された複合物。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

別の態様では、本開示は、前述の混合物のいずれかを含む芯材に結合された第 1 の スキン層 を含む、成形性複合物を提供する。いくつかの実施形態では、成形性複合物は、芯材に結合された第 2 の スキン層 を更に含み、第 1 の スキン層 と第 2 の スキン層 とは、芯材により分離される。いくつかの実施形態では、第 1 の スキン層 は金属を含む。いくつかの実施形態では、第 1 の スキン層 は熱可塑性ポリマーを含む。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

本開示の熱成形性混合物は、例えば、成形性複合物などの、様々な用途において有用である。成形性複合物には、感圧接着テープ、特に圧着フォームテープなどの材料が挙げられる。これらの成形性複合物は、芯材に結合された第 1 の スキン層 を含み、芯材は、前述の熱成形性混合物のいずれかを含む。いくつかの実施形態では、成形性複合物は、芯材に結合された第 2 の スキン層 も含み、第 1 の スキン層 と第 2 の スキン層 とは、芯材により分離されるか、又は第 1 の スキン層 及び第 2 の スキン層 は、それらの間に芯材を有する。いくつかの実施形態では、第 1 の スキン層 は金属を含む。いくつかの実施形態では、第 1 の スキン層 は熱可塑性ポリマーを含む。

## 【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

以下は、本開示の様々な実施形態、及び実施形態の組み合わせである。

1 .

( a )

少なくとも 1 つの ( メタ ) アクリルポリマーと、

第 1 のモル分率の酸官能性ポリマーと、

第 2 のモル分率の、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分と、を含む、イ

オン性架橋ポリマーマトリックスであって、

第 1 のモル分率及び第 2 のモル分率が、ポリマーマトリックス内の繰り返し単位の合計モル数に基づく、イオン性架橋ポリマーマトリックスと、

(b) 2 ~ 50 重量%の微小球と、を含む、熱可逆性混合物。

2. 少なくとも 1 つの (メタ) アクリルポリマーが、酸官能性ポリマーと、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分と、から誘導される第 1 の (メタ) アクリルポリマーを含む、実施形態 1 に記載の混合物。

3. 少なくとも 1 つの (メタ) アクリルポリマーが、酸官能性ポリマーを含む第 1 の (メタ) アクリルポリマーと、酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分を含む第 2 のポリマーと、を含む、実施形態 1 に記載の混合物。

4. 第 2 のポリマーが (メタ) アクリルポリマーである、実施形態 3 に記載の混合物。

5. 酸官能性ポリマーとイオン性架橋を形成可能な部分が、非求核性アミン官能性モノマーから誘導されるポリマーからなる群から選択される、実施形態 3 又は 4 に記載の混合物。

6. 反応性モノマーが、置換アジリジンからなる群から選択される、実施形態 2 に記載の混合物。

7. 酸性官能性モノマーが、エチレン性不飽和カルボン酸からなる群から選択される、実施形態 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の混合物。

8. 酸性官能性ポリマーが、(メタ) アクリル酸モノマーと (メタ) アクリル酸エステルモノマーとの混合物を含む、実施形態 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載の混合物。

9. (メタ) アクリル酸エステルモノマーが、アルキル基に 2 ~ 14 個の炭素原子を有するアルキル (メタ) アクリレートである、実施形態 8 に記載の混合物。

10. 少なくとも 1.5 重量%の微小球を含む、実施形態 1 ~ 9 のいずれか 1 つに記載の混合物。

11. 微小球がガラス微小球である、実施形態 1 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の混合物。

12. 微小球が膨張性ポリマー微小球である、実施形態 1 ~ 9 のいずれか 1 つに記載の混合物。

13. 永久的架橋を有する少なくとも一部の架橋ポリマーマトリックスを更に含む、実施形態 1 ~ 12 のいずれか 1 つに記載の混合物。

14. 実施形態 1 ~ 13 のいずれか 1 つに記載の混合物を含む芯材に結合された第 1 の スキン層 を含む、成形性複合物。

15. 芯材に結合された第 2 の スキン層 を更に含み、第 1 の スキン層 と第 2 の スキン層 とが、芯材により分離される、実施形態 14 に記載の成形性複合物。

16. 第 1 の スキン層 が金属を含む、実施形態 14 又は 15 に記載の成形性複合物。

17. 第 1 の スキン層 が熱可塑性ポリマーを含む、実施形態 14 又は 15 に記載の成形性複合物。

18. 実施形態 14 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の成形性複合物を含む、成形された複合物。

19. 成形された複合物が冷間成形されたものである、実施形態 18 に記載の成形された複合物。

20. 成形された複合物が熱成形されたものである、実施形態 18 に記載の成形された複合物。